

# 新規輸入牧草ラップフィルムの効果確認試験

JA今金町

坂本 好史、村瀬 一人



【村瀬様】使用機械①



【村瀬様】使用機械②



【村瀬様】使用機械③



試験品

## 試験目的

新規輸入牧草用ラップフィルムの効果確認試験

## 試験作物 及び品種

牧草

## 試験資材 及び数量(規格)

アグリチャンプ(500cm×1800m) 白

## 慣行資材

グラスワインド

## 資材使用期間

5月～10月

## 試験結果

### (1)作業性について(慣行品との比較)

【村瀬様】慣行のグラスワインドと比較し遜色なかった。例年グラスワインドを使用しており、これまでは問題なく使用できていたが、今年は切れてしまうものが散見された。反面、試験品は問題なく使用することができた。

【坂本様】試験品を使用している最中に切れてしまい、途中で使用を中止した。

### (2)作物の生育状況または、収穫への影響

慣行品と遜色なかった。

### (3)栽培管理上の優位点あるいは問題点について

【優位点】慣行品と変わらない。

### (4)資材の強度・耐久性・崩壊性について

【村瀬様】慣行品と変わらない印象。慣行品が切れてしまうものが散見されたが試験品は問題なく使用することができたため、試験品への切替は可能。

【坂本様】機械との相性の関係もあるかもしれないが、慣行品よりも強度が低い印象。

### (5)促成・抑制効果について

慣行品と遜色なかった。

## モニター感想

【村瀬様】慣行品と比較し、作業性・牧草の品質ともに遜色なかったため、使用可能かと思われる。牧草用ラップフィルムのみならず、諸資材の価格が高騰している中で、安価な輸入品で品質が問題ない資材を今後も検討していきたい。

【坂本様】作業途中に切れてしまい、使用を中止したため使用は難しい。

## JA担当者の感想(生産資材課 石川 氏)

機械との相性によるものと思われるが、良否が分かれる結果となった。

切替に当たっては、安価なものであることはもちろんだが、機械との相性等も勘案して紹介しなくてはならない。

資材価格が上がっており、安価な輸入品を使用し生産者の営農コスト低減のための試験を今後も行いたい。

## 今後の使用について

生産者によって使用している機械も様々なので、全ての機械に合うラップフィルムを求めるのは難しい。今後も改良や試験を重ね、より多くの機械と相性が良く、コスト面でも魅力的なものが出てくることを期待したい。